



【上】大人気の体験工房  
【右】鍛冶屋さんの話が聴ける宿泊施設



## ●金丸弘美

かなまる・ひろみ／環境ジャーナリス  
ト。1955年生まれ。執筆活動のほか  
食のアドバイザー事業を手がける。著書  
に「地域ブランドを引き出すカートゥナル  
マネジメントが田舎を変える!」(合同出  
版)、「田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5  
つの法則」(NHK生活人新書)など多数。

## 20 地域を元気にするユニークな存在

# おおむら 夢ファームシュシュ

**長** 岐阜大村市にある直売所「お  
おむら夢ファームシュシュ」

は、地域を元気にするユニークな存  
在だ。小さな木造の60坪の店舗だ  
が、売り上げは6億5000万円。  
年間50万人が訪れる。長崎空港から  
15分。いまでは長崎市内までの観光  
ルートに組み込まれるまでになった。

直売所には参加農家120人のぶ  
どう、梨の果樹類から弁当、饅頭、  
餅などが持ち込まれる。おいてある  
ものは、地元で作ったものばかり。  
85歳のおばあちゃんの饅頭は、作り  
手の写真と作業の様子が掲示され、  
毎日限定販売。年間180万円が売  
れる。

ヒット商品は、豚肉のひれ、こま

肉を串に刺した串揚げ用。いずれも  
パン粉をまぶしたもので、そのまま  
揚げれば、ご飯、弁当、お酒のつま  
みになるといふもので、毎日、飛ぶ  
ように売れている。

店内にはケーキ工房があり、地元  
の梨のパイは年間500万円を売る。

直売所の隣には、ウインナーから  
作るホットドック、ピザ、パンなど  
の体験教室がある。体験料は100  
0円。女性のスタッフが、写真パネ  
ルも使いながら丁寧に作りかたを指  
導してくれる。ここには年間800  
0人が訪れる。それも児童館、老人  
ホーム、修学旅行など幅広い。

体験施設にはパン工房とジェラ  
ト工房が併設されている。ジェラト  
は、地元の苺、ブルーベリー、ブドウ  
など、季節のものを使って作る。土  
日は朝から夕方まで長蛇の列である。  
併設されているのが、ブドウの樹  
の下のレストラン。ブッフエスタイ  
ルで、地元の農産物を使い60種類の  
料理を出している。

実は、ここで人気が、なんと法事  
である。間仕切りをして行ってい  
る。毎週予約が入る。それだけでは  
ない。結婚式も行って、レスト  
ランの横のテラスを使い、夕焼けの  
大村市をバックグラウンドに挙式を

するというスタイル。

直売所には近隣20戸の梨、ブドウ  
の観光農園の写真が掲示され、四季  
ごとに、農家自身が出演するPRの  
映像が流れている。

実は、直売所とレストランだけで  
は滞留時間も限られる。そこで地域  
の観光農園と連携して、ブドウも  
ぎ、梨もぎもしてもらい、近隣にあ  
る湖や自然公園なども味わってもら  
うという心にくい趣向だ。このおか  
げで、全体に集客力も売り上げもア  
ップした。

昨年からは始めたのが、民家4軒と  
の農家民泊の受け入れ。一軒は、古  
い村の蔵の建造物を活かしたぶどう  
農家のもの、一軒は広いゴルフ練習  
場を併設した緑豊かなところ、一軒  
はシュシュの代表の山口成美さんの  
ところで独立したB&B方式。シャ  
ワーと個室と寝室があり、朝食がつ  
く。一軒は、代々続く鍛冶屋さんの  
家屋。特に人気となったのが鍛冶屋  
さん。一般の人は、包丁づくりなど  
みることができない。現場で作ること  
を見るのができ、最上の包丁も鍛  
冶屋販売だから値段も安い。宿泊か  
ら包丁が売れるということとなっ  
た。直売所から、おもわぬ新しいつ  
ながりが地域に生まれている。